



お話の学習指導案



教育目標

題名

- ・ すいせい（水勢）とがん（岩）しょうで日本ぐんをしりぞけた、りしゅんしん（イ・スンシン）

年齢

- ・ 児童(6~9歳)

主題

- ・ 目標：国をまもるためにじぜんにそなえた りしゅんしん（イ・スンシン）のかしこさをまなぶ。
- ・ 主題：ちえ

キーワード

- ・ ちえ, りしゅんしん（イ・スンシン）, じんしんわらん（イムジンウエラン）, かいせん, ミョンニャンたいしょう, ウルドルモック, きっこうせん, りょうし

韓国文化

- ・ 目標：りしゅんしん（イ・スンシン）しょうぐんがつくったきっこうせんについてきょうみをもつ。
- ・ 要素：りしゅんしん（イ・スンシン）、きっこうせん

韓国語

- ・ 目標：お話をきいて、はんたいことばをならって、ひょうげんをする。
- ・ 単語：꼼꼼하다（きちょうめんだ）、덤벼대다（おっちょこちよい）
- ・ 表現：
꼼꼼하게 살피고 준비해요.
（きちょうめんにしらべてじゅんびをする。）
꼼꼼하지 못하고 덤벼대요.
（きちょうめんにできずにおっちょこちよいをする。）



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

今日、おばあちゃんがするお話は、タイトル、さっさと出てこい！
“すいせい(水勢)とがん(岩)しょうで日本ぐんをしりぞけた、り しゅんしん
(イ・スンシン)”のお話です。
みなさん、おばあちゃんのことばをきいてだれがおもいつくかを話してみてください。うみ、しょうぐん、きっこうせん。そうですね。りしゅんしん(イ・スンシン)
しょうぐんです。り しゅんしん(イ・スンシン)しょうぐんは小さいかずのへいしで
かしこく日本ぐんをしりぞけたといいます。り しゅんしん(イ・スンシン)しょうぐ
んがどれぐらいゆうかんでかしこかったのか、お話をきいてみましょうか？



お話の始まりの歌を歌う

“すいせい(水勢)とがん(岩)しょうで日本ぐんをしりぞけた、り しゅんしん
(イ・スンシン)”のお話の中へしゅっぱつ！
♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかしちょうせんじだいに、ゆうかんでかしこい り しゅんしんしょうぐん
がいました。しょうぐんはたみと国をころからあいしました。万が一のせ
んそうから国をまもるためにまえてそなえをしました。

ふだんでもへいしたちをくんれんさせて、ふねとぶきもきちょうめんにかく
にんしました。

“せんそうがおきたわけでもないのになぜくんれんをするのか。”

“そうだよ。たいへんなだけなのにな。”

なんにんかのへいしたちがぶつぶついたりもしました。そしたら、り しゅ
んしんしょうぐんががんがんしたこえでどなりました。

“わたしたちは国とたみをまもる人びとだ！じぜんにじゅんびして国のへい
わをまもるためのものだ！なまけるな。”

そしてり しゅんしんは、へいしたちよりもっといっしょうけんめいにくんれ
んしてどりよくをしました。そのすがたにへいしたちは大きくかんどうしまし
た。

“しょうぐんさまをみならわないといけない！”

口演 活動内容



お話を聞かせる

へいしたちもしいにり しゅんしんのいけんにしたがっていっしょうけんめいにくんれんしました。

あめやゆきがふるうっとうしいてんきでもです。

そんなある日でした。へいしの一人があわててはしってきていました。

“しょうぐんさま、たいへんなことになりました!とてつもなくおおい日本のへいしたちがせめこんできたといいます!たみたちをいじめて、じゅうでころしたりもするそうです!”

よこでこのことばをきいたほかのへいしたちがざわつきました。

“いや、どうしたらいいのか?”

“わたしたちはせんそうに出てたかったこともないのに。”

その上にととてもこわがって、きがきでないへいしまでいました。り しゅんしんはゆるぎないすがたでいいました。

“よくきけよ。わたしたちはいつもせんそうにそなえてくんれんをしてきた!しんぱいをするな。かならずかてるのだ!”

口演 活動内容



お話を聞かせる

り しゅんしんしょうぐんは、どのようにてきとたたかうのかをあたまの中でかんがえました。そしてたいしょうたちをよんでいいました。

“今日のよる、村のりょうしたちをみなよぶのだ。そして、いっしょにたべるたべものもじゅうぶんにじゅんびしろ。”

たいしょうたちはきょとんとしました。しかし、り しゅんしんしょうぐんのことばにしたがって、りょうしたちをよんであつめました。

り しゅんしんしょうぐんはりょうしたちとなんにちかの間いっしょにすごしました。じかんがしだいにすぎると、おたがいにしたしくなりました。り しゅんしんしょうぐんはりょうしたちにあれこれたずねました。

“さかなをつかまえるときにたいへんなことはありませんか？”

一人のりょうしがあたまをぐらぐらふりながらこたえました。

“すこしまえにさかなをつかまえに出てしにそうになりました。すいせい(水勢)がどれだけはやかったのか、しゅんかんてきにながされそうになりました。そこはそのじかんになるといつもすいせい(水勢)がはやいですよね。”

“それは!ちゅうしなければなりません。ところでせいかくにそのいちがどこらへんですか？”

口演 活動内容



お話を聞かせる

り しゅんしんしょうぐんはりょうしがいうことばをくわしくきいてかきとめました。そうしてうなずきました。

そのときまたほかのりょうしがいいました。

“わたしもいちどおおきくおどろいたことがありました。かぜがほんとうにつよくきゅうにふいたのか、そのあとにそこにはぜったいにいきません。まちがったら、ふねがしゅんかんてきにひっくりかえります。そのすぐよこにはとてつもなく大きい岩がありました。その岩にぶつかればふねがすぐにこなごなになります。”

り しゅんしんしょうぐんの目つきがひかりました。

“そこはどこですか？”

“ウルドルモックです。”

りょうしがへんじをすると、わすれるかとねっしんに書きとめました。そんなしょうぐんのようすをみてぶかたちはおかしいとおもいました。

“しょうぐんさまはきゅうにどうされたのか？”

“そうだよな。なんにちもよるになるとりょうしたちとはなしだけされて。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

そのときに、そのことばをきいた一人のたいしょうがいました。

“ほう、おまえたちはまだしょうぐんさまをわからないのか？いま日本ぐんと立ちむかうほうほう（方法）をさがしていられるではないか！”

そのことばにへいしたちがくすつとわらいました。

“りょうしたちのことばをきくのがほうほう（方法）なのか？”

すると、そのたいしょうがしたうちをしながらいいました。

“いつもうみにでてさかなをつかまえるりょうしたちは、そのだれよりもうみについてよく知っているだろう。どこがすいせい（水勢）がはやくてかぜがつよいのか。あぶない岩がどこにあるのかということだ。”

“これがなぜほうほう（方法）なのですか？”

そのたいしょうはもどかしいようにむねをたたいていいました。

“しょうぐんは、りょうしたちがしらせてくれたばしょなどをおぼえてちょくせつつかれているそうさ。これらをりょうして、日本ぐんをしりぞけようということだ！”

口演 活動内容



お話を聞かせる

やっとへいしたちは、り しゅんしんしょうぐんのふかいいみをさとりました。

ついに、り しゅんしんしょうぐんはへいしたちをつれてうみに出ました。とてつもないかずの日本ぐんたちは、じょうぶなふねにのってきてじゅうまでうちました。しかし、り しゅんしんしょうぐんとへいしたちはびくともしませんでした。すいせい（水勢）がつよくかぜがふくところや大きい岩がおおいうみに日本ぐんをひきいれました。日本ぐんたちのふねはおおなみにひっくりかえって、力なくこわれてしまいました。り しゅんしんしょうぐんのかしこさのおかげで、すくないかずのへいしでも日本ぐんをやすやすとしりぞけて、とてもながかったじんしんわらんもはやく終わったといいます。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたお話をよくききましたか？おはなしに出てきたりしゅんしんはどんな人でしたか？

そうですね。り しゅんしんはまえもってじゅんびする人でした。日本ぐんがせめてくることをして、きちょうめんにちょうさしてじゅんびをしました。ふだんでもへいしたちをくんれんさせて、きっこうせんをつくるようにしましたね。そしてうみをよくしているりょうしたちとはなしをかわして日本ぐんをしりぞげることができるばしょをえらび、ちよくせついつてきちょうめんにかくにんしてみました。このようなり しゅんしんのせいかくは日本ぐんをしりぞけるのにととてもたすけになりました。ぬけめなくしごとをする人を‘きちょうめんだ(コムコマダ)’といいます、はんたいに、おちつけなくてうかれてあわててしごとをする人を’ おっちょこちよい(トムボンテダ)’だとひょうげんします。みなさんはきちょうめんですか？それともきちょうめんにできないおっちょこちよいですか？かんがえてみましょう。

みなさん、り しゅんしんしょうぐんがまいばんだれの話なきこうといき来しましたか？

そうですね。りょうしたちですね。り しゅんしんはうみをいちばんよくしているりょうしたちから日本ぐんをふせぐばしょをさぐりあてました。すいせい(水勢)がつよくてかぜがふくばしょ、大きい岩がおおいうみをりょうして、すくないかずのふねとへいしでおおくの日本ぐんをしりぞけることができました。またりしゅんしんは’きっこうせん’というふねをつくってすくないへいしで日本ぐんにかちました。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

ゆうかんでかしこい り しゅんしんしょうぐんをきおくするために、ぜんらなん
どうのヨスで‘ヨスキっこうせんまつり‘やけいしょうなんどうのトンヨンで‘ト
ンヨンハンサンたいしょうまつり‘、ぜんらなんどうのチンドとヘナムで‘ミョン
ニャンたいしょうまつり‘などをまいとしひらいているそうです。りしゅんしんし
ょうぐんときっこうせんにきょうみがあるおともだちは、‘どらんどらん お話
ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、おばあちゃんと“すいせい(水勢)とがん(岩)しょうで日本ぐんをしりぞけた、りしゅんしん(イ・スンシン)”のお話をまとめてみましょう。

りしゅんしん(イ・スンシン)は日本ぐんがせめこんでくるまえからへいたちをくんれんさせてきっこうせんをつくって、いつでもてきぐんがせめこんできたらたたかうことができるようにじゅんびしました。みぶんとわずに、たみたちとりょうしたちにうみのはなしをききました。日本ぐんがせめこんできたら、きっこうせんとうるドルモックのとくせいをりょうして日本ぐんをおおきくうちやぶりました。みなさんもじぜんじゅんびするせいかつしゅうかんをやしなえれば、どんなことでもうまくできるはずですね。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

♪ いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？

いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。

さようなら！